

最上地区学力向上プラン

令和6年4月
最上教育事務所

教育活動をつなぐカリキュラム・マネジメント

「アクションプラン」による日常実践

「魅力ある学校づくり」の推進

子どもの目が輝く「授業づくり」

教科の本質に迫る“教材研究”

習得・活用・探究のバランスの取れた“単元構成”

学びを深める“教師のかかわり”

個別最適な学びへつなげる“見取り”

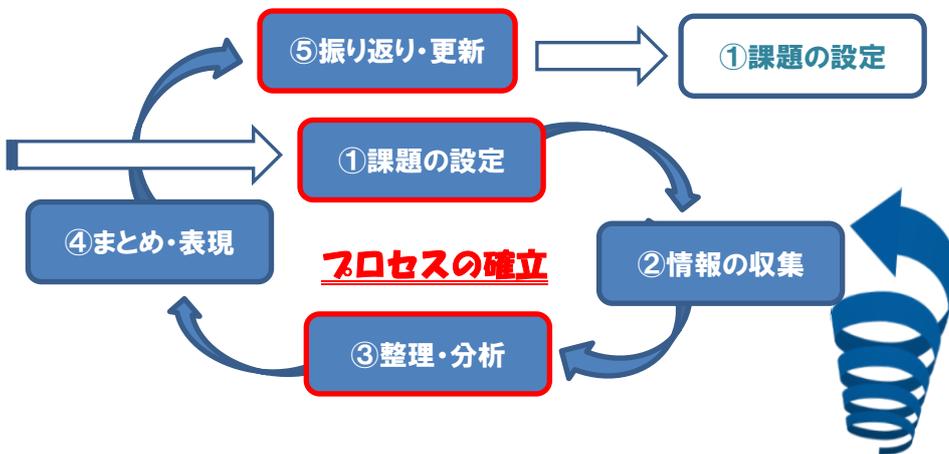
探究

習得 ↔ 活用

「つきたい資質・能力」
「見方・考え方」

【裏面参照】

「探究の過程」の充実



つながり・支え合う「関係づくり」

主体的に考え・判断する“自治的な集団づくり”

「わからない・教えて」と言える“聴き合える関係”

全ての子どもの“居場所づくり・絆づくり”

主体的・対話的で深い学び

生きて働く「確かな学力」

教科の本質に迫る“教材研究” —授業づくりにあたって—

- 学習内容の**学習指導要領・解説書**における位置づけ等を確認していますか？
- 単元及び本時で**つけたい資質・能力**を明確にし、目標と評価方法が**具現化**されていますか？
- 「**見方・考え方**」を働かせている具体的な子どもの姿を**イメージ**できていますか？

導入

“自分事”となる課題設定 —「？」を引き出す—

- 子どもの**疑問や必要感**を引き出す**子ども主体**の問いはありますか？
- **課題の追究**が、本時の**ねらいの達成**につながっていきますか？

展開

教師の適切な“かかわり” —「学び」を深める—

- **働かせたい「見方・考え方」**が明確に見えていますか？
 - 子ども**一人ひとりの声や思考**に、耳と心を傾けていますか？
 - **思考のズレや差異**を焦点化して、子どもに**問い返し**ていますか？
 - **個々の思考の再構築の時間**を確保していますか？
- ※グループ学習においても一人ひとりの見取りをていねいに行い、
学びを深める教師のかかわりを大切にしましょう。

終末

“見取りと評価の精度”を上げる —個別最適な学びにつなげる—

- **評価規準を明確**にし、**児童生徒と共有**していますか？
 - **評価問題**を活用し、一人ひとりの習得状況を見取っていますか？
 - 学んだことを**整理・確認する視点**を与えて**振り返り**を行っていますか？
- ※本時のねらい(つけたい力)が達成できたかどうかを、
先生も子どもも確認していくことが「確かな学力」の育成につながります。

単元を通して資質・能力を育む授業づくり

教師の指導改善 & 児童生徒の学習改善へ生かす